

記入例

締切：平成29年11月14日(火)
提出先：(E-mail) info@shinsyokyo.com

第7回職員スキルアップ研修会「事前提出用シート」 「利用者の権利擁護・虐待防止に向けたケアガイドラインの活用」

都道府県	東京都	会員施設名	〇〇苑
フリガナ氏名	〇〇 〇〇		
職種 [1] <small>※左記番号を記入</small>	1:生活支援員、2:サービス管理責任者、3:看護職員、 4:理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等のセラピスト、 5:管理栄養士・栄養士、6:その他()	障害福祉関係施設・事業所での勤務経験年数	約 12 年
事前課題の実施体制		事前課題に参加したメンバーの職種等(1人でも含まれていれば○を記入)	
参加したメンバーの人数	8人	<input type="checkbox"/> 生活支援員、 <input type="checkbox"/> サービス管理責任者、 <input type="checkbox"/> 看護職員、 <input type="checkbox"/> 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等のセラピスト <input type="checkbox"/> 管理栄養士・栄養士、 <input type="checkbox"/> 施設長、 <input type="checkbox"/> その他	

施設概要

施設入所支援の定員 (平成29年9月1日現在)	30名 [平均障害支援区分:5.5、平均年齢:53.5]
日中活動(生活介護事業)の定員 (同)	37名 [平均障害支援区分:5.3、平均年齢:50.2]
同法人が運営している他の主な障害福祉関係事業種別	生活介護

1. 権利擁護・虐待防止に関する項目(範囲は別紙参照)で意見が分かれた項目での議論や判断の内容(特に議論が分かれたもの1つを選択して回答)

章	←該当する下記のケアガイドラインの章番号の欄に○を記入	節	項目	施設としての回答	
○	1. 日常的な生活支援	(3)	1	できている=○ できていない=×	×
	2. 良質かつ安心・安全な生活支援のための仕組みづくり等				
	3. 地域を支える福祉拠点としての取り組み				

施設内での議論で出た主な意見

「できている」と考えたスタッフの意見の根拠・理由(主なもの)

- ・声かけや、ドア閉めなどを適切に行っており、同性介助にも努めている。
- ・同性介助は希望者のみの実施で、利用者全員に行っているわけではないが、本人の希望に沿っているため、「同性介助に努めている」と判断した。

記入例では「(3)排泄」を取りあげました

「できていない」と考えたスタッフの意見の根拠・理由(主なもの)

- ・排泄介助の同性介助について、日中はできていることが多いが、夜間帯はどうしても職員の数が減少することで、「できている」とは言えない。
- ・同性介助は利用者本人の希望があった場合のみ対応している。利用者が自分から言い出してこなくても、本心では希望している可能性がある。十分に同性介助に努めているとは言えない。

施設の議論の結果、「できている」または「できていない」と判断した根拠・理由

- ・同性介助に着目して「できていない」と判断した。
- ・夜間帯は女性職員だけの勤務の日があり、24時間全体で捉えると、同性介助ができているとはいえないため、「できていない」という判断となった。
- ・同性介助は希望者のみの実施であり、利用者が自分から言い出してこなくても、本心では希望している可能性があるため、十分に同性介助に努めているとは言えないと判断した。

3. ケアガイドラインにおける権利擁護・虐待防止関連項目に関する改善点

ケアガイドラインの権利擁護・虐待防止に関する記述（チェックリスト以外の部分も含む）で修正・改善すべきと感じた箇所について記載ください。（例：「～の部分の表現が曖昧である」等）

該当ページ	修正・改善すべき点
15 ページ、その他	「～努めます。」との表現では、どの範囲まで対応すればよいのか不明確である。線引き（対応すべきこと）をはっきりとさせるべき。
44 ページ	【虐待防止等に関する事業者の責務】に障害者虐待防止法の「合理的配慮の提供」

4. その他、本研修会に期待すること等についてお書きください。

--

※枠の大きさは必要に応じて拡張してください（合計で2ページにおさめてください）

(参考1) 章・節・項について

<p>章番号</p> <p>1. 日常的な生活支援</p> <p>(1) 食事</p> <p>節番号</p>	
項目	チェック欄
1. 清潔保持やレイアウト、椅子やテーブルの工夫に努め、提供時間帯以外であっても、可能な限り利用者の個別的な事情に配慮して食事を摂れるようにしている。	<input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> できていない
2. 可能な限り利用者の嗜好や季節感を取り入れ、選択食やバイキング方式等、利用者が選択できる食事を提供している。	<input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> できていない
3. 適時適温での提供に努め、温度・味付け、盛り付け等の確認を行っている。	<input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> できていない
4. 一人ひとりの希望、障害の特性や栄養状態に配慮した栄養ケア・マネジメントを適切に実施し、経口維持、経口移行の実施にあたっては、利用者の理解を得ながら医師、管理栄養士等との十分な連携を図り進めている。	<input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> できていない
5. 感染症予防のため、食中毒予防に関するマニュアルに基づき、食前の手洗い、手指消毒などを行っている。	<input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> できていない
6. 適正な職員配置のもとで、食事中の安全を確保し、一人ひとりのペースに合わせて介助・見守り等の支援を行っている。	<input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> できていない

(参考2) 権利擁護・虐待防止に関する項目（全チェックリスト項目から関係する項目のみ抽出したもの）※[p.]はケアガイドライン該当ページ

◆中核的な項目

2. 良質かつ安心・安全な支援のための仕組みづくり等
(6) 虐待防止・権利擁護（全6項目）[p. 69]

◆同性介助・プライバシー関連の項目

1. 日常的な生活支援
(2) 入浴：「2」、「3」 [p. 62]
(3) 排泄：「1」 [p. 63]
(4) 衣類（着替え）：「2」 [p. 63]

◆関連の深い項目

1. 日常的な生活支援
(10) 相談支援（全9項目）[p. 65]
2. 良質かつ安心・安全な支援のための仕組みづくり等
(5) 苦情・相談体制（全7項目）[p. 68]
(7) 個人情報保護（全6項目）[p. 69]
(8) 職員の専門性と人権意識の向上に向けた定期的な研修（全4項目）[p. 70]
(10) サービスの質の向上のための取り組み：自己評価と第三者評価（全5項目）[p. 71]

◆環境整備として重要な項目（開かれた施設づくりに関係）

2. 良質かつ安心・安全な支援のための仕組みづくり等
(9) ボランティア・実習生の受け入れ：「1」、「3」、「4」 [p. 70]
3. 地域を支える福祉拠点としての取り組み
(1) 地域との交流、地域福祉の推進のための取り組み（全2項目）[p. 71]
(2) 広報活動と積極的な福祉情報提供（全4項目）[p. 71]